

東北ハイテク研究会

ニュースレター(No.28 2018.12)

(東北食農ネットワーク T-FAN)



東北食農ネットワーク” T-FAN” 第 28 号をお届けします。

第 28 号では、東北ハイテク研と山形農業総合研究センターが共催で実施しましたセミナー「競争的外部研究資金を獲得するためには—イノベーション創出強化研究推進事業への対応を中心に—」(30/11/5 開催 山形県農業総合研究センター：山形市、参加者 50 名)について報告します。

セミナー開催の目的

試験研究予算の確保が年々厳しさを増すなか、農林水産業に資する有用な技術開発を進めるためには競争的外部資金を積極的に獲得していく必要があります。今回は、農林水産・食品研究分野の競争力の強化による飛躍的な成長の実現、革新的な技術・商品・サービスを生み出す研究開発の実践等を目的に、今年から新たに創設された「イノベーション創出強化研究推進事業」を主に、外部資金獲得に向けたセミナーを開催しました。

講演・質疑討議の内容

東北ハイテク研究会の門間事務局長が「競争的外部研究資金を獲得するためには—イノベーション創出強化研究推進事業への対応を中心に—」というテーマで講演を行った。講演内容は、以下のとおりである。

講演の内容

1. 山形県の土地利用型農業の未来像
2. 今後強化される農水省の研究プロジェクト
3. 『「知」の集積と活用場』への対応
4. イノベーション創出強化研究推進事業について
5. 本年度の審査から見た採択に向けての対応の基本方向
6. 東北ハイテク研による支援

(講演資料を東北ハイテク研 HP (会員専用ページ) に掲載しております。)

また、質疑に付いては、東北ハイテク研究会による農林水産省の競争的研究資金以外の支援、参画すべきプラットフォームの紹介、若手研究員が競争的研究資金を獲得していく場合の支援、産学連携組織の組み方など、多岐にわたる質問が提起された。

門間事務局長は、セミナー終了後に開催された「山形県農業総合センタースキルアップ研修会」にも参加し、若手研究員の研究計画へのアドバイスをおこなった。



<講演風景>